

【事例：農林漁業 6 次産業化ファンドの出資案件】

○ウナギ養殖における再肥育技術の改善による未成熟ウナギの高品質化

(西日本水産株式会社：福岡県福岡市)

実施体制：(株)西日本冷食とNCB九州 6 次化応援投資事業有限責任組合による事業形成で、出資総額は1億2千万円。

案件概要：ウナギの稚魚であるシラス資源の減少・逼迫により、通常のウナギ養殖がコスト高になる中、2級品(未成熟ウナギ)を、冷凍魚介類の製造販売で発生する残さ(シャコの殻)を活用した特殊配合飼料で再肥育し、高品質の成熟ウナギとして専門店へ販売。

ポイント：ウナギ養殖の新しいビジネスモデルの創出及び未利用資源の活用。



ウナギ養殖場

○新規需要米(玄米)を主原料とする玄米ペーストパンの製造販売

(株)熊本玄米研究所：熊本県大津町

実施体制：(株)アグリ中九州等と肥後 6 次産業化投資事業有限責任組合による事業形成で、出資総額は6千万円。

案件概要：農研機構が開発した新品種の新規需要米(玄米)から、新しい技術で玄米ペーストを製造し、それを原料としたパンの製造・販売。従来の米粉を製造する際には、玄米を精米することが必要だったが、その工程を省くことで製造コストの低減が図られる。

ポイント：玄米を原料としたパン製造・販売の新しいビジネスモデルの創出、業務用需要の取り込み及び新規需要米の生産拡大。



玄米ペーストパン